

名古屋市立大学インパクト論文表彰

所属	補職	氏名	論文名	学術誌名	発表年	論文の概要	URL
医学研究科	准教授	間邊 利江	Favipiravir for the treatment of patients with COVID-19: a systematic review and meta-analysis	BMC Infectious Diseases	2021	RNAポリメラーゼ阻害薬であるファビピラビルは、新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) の原因ウイルスであるSARS-CoV-2に対して高い有用性を有するとされています。しかしながら、COVID-19患者に対するファビピラビルの有効性・安全性を検証した研究は限られています。本研究は、システマティック・レビューとメタアナリシスにより、COVID-19に対するファビピラビルによるウイルス消失時間、臨床的改善、副反応の発生を評価し、COVID-19患者へのファビピラビル治療の有効性と安全性を検証しました。	https://jisedai-ncu.jp/
医学研究科	助教	桑山 創一郎	Automated Detection of Macular Diseases by Optical Coherence Tomography and Artificial Intelligence Machine Learning of Optical Coherence Tomography Images	Journal of Ophthalmology	2019	光干渉断層計 (OCT) は組織をみるような解像度の網膜断層像を生体で観察することができ、黄斑疾患の診断に有用であり、今や一般眼科医の日常診療においても必要不可欠な機器となった。一方、所見の読影には専門知識が必要である。本研究では、ディープラーニングの手法により網膜専門医の診断結果 (教師データ) ありのOCT画像を学習させた結果、高い精度で黄斑疾患を診断することができた。AI搭載OCT画像自動診断サポート機器の有用性が示された。	https://ncu-ganka.jp/research/
	教授	安川 力					https://www.nagoya-cu.ac.jp/media/20190415.pdf
薬学研究科	准教授	田上 辰秋	3D printing of gummy drug formulations composed of gelatin and an HPMC-based hydrogel for pediatric use	International Journal of Pharmaceutics	2021	3Dプリンターを用いた医薬品製造技術は、2015年にアメリカ食品医薬品局が3Dプリントされた錠剤を承認して以降、医薬品を製造する新技術として期待されており、その中でもテーラーメイド医薬品に関する研究が多く行われている。従来の医薬品は、成人患者を対象として開発されたものがほとんどであるため、小児適用のある医薬品は不足しているのが現状である。本研究は、今後の臨床現場でオンデマンドで小児用製剤を作製することを想定し、ハイドロゲルやペーストなどの半固形材料に対応した3Dバイオフィンターを用いて、小児向けのグミ製剤を作製し、製剤品質を評価した。	https://www.sciencedirect.com/science/article/abs/pii/S0378517320311030
	教授	尾関 哲也					
経済学研究科	准教授	坂和 秀晃	Earnings quality and internal control in bank-dominated corporate governance	Asian Business and Management	2021	近年の大企業における不正会計を受け、日本の内部統制システムは広く批判されている。日本は、銀行中心型の企業統治システムで知られている。本研究では、銀行と顧客との関係は、情報の非対称性の程度を低下させることによって、経営者の裁量的な利益管理を低下させるとの予測に基づいて、日本の上場企業における内部統制と利益管理の関係を検証している。	https://researchmap.jp/hideaki.sakawa/?lang=japanese
看護学研究科	教授	金子 典代	Correlates of lifetime and past one-year HIV-testing experience among men who have sex with men in Japan	AIDS Care - Psychological and Socio-Medical Aspects of AIDS/HIV	2021	2015年に、日本全国の男性と性交渉を行う男性に対してオンライン質問紙調査を実施した。HIV検査受検と当事者団体の予防資材の接触、性感染症既往や商業施設の利用の関連を見ることを目的に実施した。	—
理学研究科	教授	木村 幸太郎	3DeeCellTracker, a deep learning-based pipeline for segmenting and tracking cells in 3D time lapse images	eLife	2021	さまざまな顕微鏡技術が飛躍的に発達したことによって、たくさんの細胞の活動を体の中に近い三次元ビデオとして記録することが簡単になってきましたが、三次元ビデオの中の数多くの細胞を追跡することはとても困難でした。本研究では、「深層学習」と呼ばれる人工知能技術を用いることで、さまざまな条件で撮影された三次元ビデオ中の数多くの細胞をほぼ自動的に追跡し、その活動を計測可能にすることに世界で初めて成功しました。本研究の成果は、小型実験生物などを用いた基礎生命科学研究やガン細胞に対する薬剤開発のような応用研究における画像解析のデジタルトランスフォーメーションに大きく貢献すると期待できます。	https://www.kokimura-lab.org